

## 日墨グローバルパートナーシップ研修計画 研修レポート 2016年12月

井山明日香

12月の頭に CEPE (現在通っている語学学校) の学期が終わり、それから1月8日まで約1ヶ月間の冬休みがありました。この間に様々な場所へ旅行したのですが、なかでも特に好きだったオアハカという町を紹介したいと思います。



現在オアハカ州の人口は380万人で、そのうち100万人以上が先住民系と言われ、メキシコで最も先住民人口の比率が高い州です。そのため、現在でも民族固有の言語を母語とする人も多くいます。オアハカ州の中心地から車で2時間ほど離れた小さな町を訪れた際先住民の言語を直接聞く機会がありました。彼らはもちろんスペイン語も話せます、しかしそれでも民族固有の言語を大切にされていて、私とその言葉の意味を教えてとお願いすると丁寧に説明してくれて嬉しかったです。とても貴重な経験になったと思います。また右上に載せている写真はその町の教会の壁に書かれていた民族固有の言葉です。当たり前ですが、スペイン語とは似ても似つかない言葉です。

このように民族固有の文化が色濃く残るオアハカには、美味しい料理がたくさんあります。そのなかでも私が一番好きな料理が左下の写真のトラジュエダという料理です。メキシコ版ピザと言うのがわかりやすいかもしれません。パリパリのトルティーヤにフリホール(甘くない小豆)をぬってその上にキャベツやアボカド、トマト、お肉がのっています。オアハカを訪れた際には是非地元の市場で食べていただきたい料理です。次に紹介するのが右下の写真のテハテというオアハカの伝統的な飲み物です。これはトウモロコシとカカオをベースに

カカオの花やマメイ(柿のようなメロンのような果物)の種を入れて、そして冷水を加えて作るそうです。薄いココアのような味でした。この飲み物も地元の市場でよく売られていました。



そしてオアハカでとても気に入ったのが色とりどりの民族衣装です。特に市場でたくさん売られていて、どれも綺麗でした。このような衣装を普段から着ている人をたくさん町で見かけ、やはり伝統的な文化が根強く残っている地域だと認識させられました。日頃生活している現代的なメキシコシティとは全く違ってメキシコの伝統的な文化を垣間見ることができるオアハカに是非みなさんも訪れてみてください。

